

同朋 和敬

卒業式特集

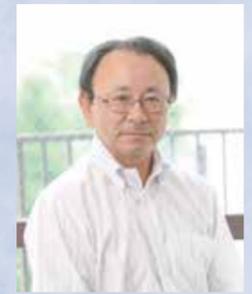
Doho High School Community Press

同朋和敬
4
学校通信
Doho High School Community Press
Vol.233 26 APR 2024

同朋高等学校 学校通信編集委員会 宇佐美・落合
名古屋市中村区稲葉地町7の1 TEL 052-411-1159



退職・離任のご挨拶



稲田 康隆

入試広報中学校担当、1年数学担当として5年間お世話になりました。
 新入生登校日や入学式では、入学生の母親となった中学校教員時代の教え子から声を掛けられ驚いたり、うれしかったりしたことが思い出されます。
 中学校訪問や入試相談会などでは、同朋高校を卒業された保護者の方や、同朋高校在校生または卒業生の保護者の方の多くが「子どもを同朋高校に通わせたい」と話されており、同朋高校への愛着を感じました。そのように多くの方から愛着を持っていただいている同朋高校で過ごさせていただき感謝しています。
 また、小・中・高で数学教育に接する機会を得たことは良い経験になりました。
 5年間ありがとうございました。同朋高校の今後益々のご発展を祈念しております。



平岩 亜扇

小さい頃から生活の中に柔道があり、大好きな柔道にここまで関わらせてもらえた私は恵まれています。それは今まで出会ってきた人たちに対しても同じ気持ちで、とても感謝しています。その環境を、変化させるに至ったきっかけは「1年間のTo Do List100」でした。「派手な靴下を履く」という簡単なものから、「富士山に登る」といったスケールのもの、「大声であけおめを言う」なんてふざけたものまでありました。その中でふと、後悔なく成仏できるかと立ち止まってしまいました。
 “やりたいを実行する”
 大人になって、やけに難しくなったことのひとつです。このリストを通して、これが楽しいものかと思いつき、大きな実行をしてみようと思えました。その結果、私は春から学生です…。
 自分を磨くことに、もう少し時間を使い、新しい挑戦をしてみようと思っています。心が躍り納得する選択の連続がある人生を共に過ごしましょう。

Club&Award News

生徒の活躍(2024年1月6日~3月4日)

- 柔道部
令和5年度愛知県高等学校新人体育大会
女子63kg級 第3位 塚田 滯(206)
女子団体 第3位
- 女子バスケットボール部
令和5年度愛知県高等学校新人体育大会
名南支部予選会 第7位 → 県大会出場
- ラグビー部
令和5年度愛知県高等学校新人体育大会
ベスト8
- 女子蹴球部
令和5年度愛知県高等学校新人体育大会
第3位
U-18女子サッカーリーグ2023愛知
1部リーグ 優勝 ⇒ 東海リーグへ昇格
- 放送部
東京ビデオフェスティバル2024
TVF2024アワード 全国大会 入賞
- 新体操競技
令和5年度愛知県高等学校
名北・名南・知多支部学年別大会
第2位 鈴木 彩乃(109)

Schedule [行事予定]

5月	11日 土	PTA総会	6月	22日 土	地域懇談会(6/23、6/29、6/30、7/6、7/7)
	17日 金	体育大会		27日 木	期末考査(~7/3)
	24日 金	ウエサカ祭		10日 水	芸術鑑賞
	28日 火	中間考査(~5/31)		7月	13日 土
6月	5日 水	生徒会立会演説会	16日 火	三者懇談会(~7/19)	
	13日 木	学園創立記念日	20日 土	終業式	

2月16日卒業式。体育大会、文化祭と並んで、卒業式が三大大事に数えられることは、知らない人が聞けば疑問を持つかもしれないが、参加した人は皆納得するだろう。卒業生の一人ひとりの言葉を紡いで作り上げられた合唱構成詩は、参加者全員の心に強烈なメッセージを残した。2022年度は在校生の参加は2年生のみだったが、今回は1年生も2年生も参加した。ずっと同朋高校が大切にしてきた形で行うことができた。同朋高校の卒業式は、卒業生にとっても在校生にとっても、とても大きな学びの場なのである。

同朋高等学校長 滝 敏行

2023年度 卒業式

本校の卒業式は、卒業証書授与式に続き、卒業生による合唱構成詩が披露されます。今年度は、3年間の高校生活で“のこったもの”、この学校に“のこしたいもの”を伝えてくれました。

2023年度 合唱構成詩

お母さん早くー
ちょっと、何で学ラン着てるの？
え？学校行くからだけけど…
どこの学校行くの？
同朋！
同朋高校ならブレザーでしょ！
あ！そっか！
もう、ほら早く着替えて！
うん、ありがとう！
初めて着たブレザーに心はずませながら、新しい生活に期待をふくらませていた。



入学式

ねえ見て！教室の窓に名前が張ってある！
もしかして新入生全員分？
俺の名前どこだろう
緊張するなー…
新入生として入った体育館は、体験入学の時とは全く違った印象で知らない場所のようだった。
担任の彦田です。はじめまして。
先生から生徒手帳が渡された。
これ学年全員で何人ぐらいなんだろう
えっ合掌ってなに？
部活多っ！
入学式の時点で中学とは違うことが沢山あった。すごく戸惑った。
始業式の日、自分のクラスを見つけ、ドキドキしながら教室のドアを開ける。
あっ…席ここか。
ねえ、君って頭良い？
前にいた子に突然話かけられた。
えっ、いやっ、そんなに…
戸惑って会話ができなかった…。
何もわからないまま学校生活が始まった。

のんほいパーク

あっ！そのキャラ知ってる！
え！もしかしてこのアニメ見てるの？
見てる見てる！
1回もしゃべったことがなかった子と仲良くなった。
園内ではグループに分かれてミッション。
先生からヒントもらえるんだって！
「坪内 つばさ」って誰だっけ？
違う違う！「あきら」だよ！一組の担任の！



そうなの!?じゃあ9組の先生は?「小堀 のうにん」?
あ!あそこに「あかりん」いるー!!
ヒントもらいにいこ!
学校で過ごしてる時よりもいろんな人と話した。初めての行事、みんなと楽しく過ごせたから、ちょっとだけ緊張が解けた!
そんな楽しい日常の一方で、コロナの感染者は増えていった

コロナ禍の中で

え?体育大会延期なの?
楽しみにしてたのに、でも延期ならまだいいか。
え、文化祭と体育大会中止?明日から分散登校?
コロナになった人もたくさんいたし、しょうがないか…
まあ、文化祭の準備全然進んでなかったしむしろラッキー
奇数と偶数で別れて登校?
お前何番だっけ、十二番?おい俺と別かよー
え!でも、毎週三連休になるとかまじ最高!
人数すくな!これで全員なの?
この人数で部活なんてできないよー
はやくみんなに会いたいな

1年自主活動日

だれでも楽しめるゲームって何だろう?
私沈没ゲームやってみたかったんだけど、どうかな?
それいいね!でも、鬼やってくれる人いるかな…そうだ!ルーレットで決めよう
箱積み上げるゲームもやろうよ
ダンボール100個集まった!でもまだ半分かー
もう来週なのに全然準備終わらない
大変なことが多かった
そして迎えた当日
沈没だー!
お前逃げるの早くない?
やばっ!あのチームたっか!
想像以上に大盛り上がり!
クラスの壁を越えて楽しむことができた!



2年体育祭・文化祭

コロナの厳しい規制に慣れてきた私たちにとって、理想通りにならないことがあたりまえになっていた。2年生になってもそんな生活が続くと思っていた。
今年はやるんだ。でもまたなくなるんじゃない?
運動が苦手な僕は、体育大会が楽しめるか不安だった。けど、

どの先輩も優しく話しかけてくれて、ダンスも丁寧に教えてくれた。そんな日々のおかげで楽しみになってきた。
私は、体育大会なんて競技に出てない時間のほうが長くて一日中暇だし、楽しめないと思っていた。しかし当日になると自分が競技に出ていない時間も、友達を応援したり、隣の子と話したりして、楽しめた。
先輩の体育大会に対しての熱量や向き合い方を見て、感心したけど、それと同時に、こんなに凄い先輩になれるのかと不安になった。
去年は出来なかった文化祭。何から準備すればいいのか分からず全く進まなかった。
けどホームルームで話し合いを重ねていくうちに、案がまとまっていき少しずつクラスに一体感が生まれていった。
当日、他のクラスを回る時よりも文化祭を作っている時の方が楽しかった。
三年生の演劇・パフォーマンスは高校生が作ったものとは思えないくらいクオリティが高くて感動した。来年は自分たちも色んな人を感動させるような作品を作りたい。

沖縄修学旅行企画

修学旅行2日目のコースをつくる委員会。
中学の時の修学旅行がコロナでなくなったのが悔しかったから、その委員会に入った
沖縄の海、パンフレットで見てもすごい綺麗!
おいしそうな食べ物もたくさん!
考えてるだけでワクワクした
どんなコースにしよう?
私たちがやりたいこと全部入れちゃおうよ!
そっちどうだった?
人数制限あってダメだって。そっちは?
電話つながらない…
コロナのせいで思うようにはいかなかった
だけど、みんなが楽しめるように工夫と挑戦を続け、コースを完成させた
みんなにコースを知ってもらうための動画もできたー
それではどうぞ!

沖縄修学旅行

名古屋を飛び立ち、沖縄に着くとそれぞれのコースに分かれて平和学習に出発
基地ってこんなに近くにあるの?
しかも仕切りがフェンス一枚って…
え、あれオスプレイじゃない?
想像以上にうるさいんだけど、落ちてきたりしないよね?
ガマの中暗くて全然前見えないんだけど!

こんなところで生活してたなんて…
沖縄戦は本当にあったんだ。僕たちはその事実を忘れてはいけない。
二日目はアクティビティ!みんなで楽しもう!
アクティビティを楽しんだあとは、フェリーに乗って伊江島に出発!
コロナのせいで伊江島にいけない人たちがいる。その人たちの分も楽しもう!
おじい、おばあどんな人だろう?
フェリーからの景色きれいだね酔いそう…
伊江島に到着、おじいとおばあは「おかえり」と温かく出迎えてくれた
ご飯すごくおいしい!
おばあの作ってくれたサーターアンダギーは、食べるとみんなが笑顔になった
次の日、朝からおじいと島巡り。綺麗な海、他愛ない会話、全てが楽しかった
一緒に過ごすうちに、おじいとおばあと家族になっていた
えっ?もうフェリーの時間?
おじい、おばあからの「いってらっしゃい」は、私の背中を押してくれた
おじい、おばあ大好き!また会いに来るね
最終日、首里城に行ったり、国際通りでたくさん買いものをしたりした。
えっもう名古屋に帰るの?早いよー
沖縄楽しかった!絶対また来たい!

オーストリア

20時間かけて着いたオーストリア。平和学習で行ったのはマウトハウゼン強制収容所。
収容所内の資料館には、囚人服や実際に虐殺に使われたガス缶、当時撮られた死体の写真が何枚も展示されていた。
今立ってる場所でもたくさんの人が殺されたんだ…。急にあたりがつめなくなった気がした。
収容所にある教会で歌ったDona Nobis Pacem.この時間は、絶対に忘れられない。
小川が流れる、ありふれた小道。ここでベートーヴェンが、あの名曲を生み出したのか
作曲家たちの家には、当時使われていた楽器や眼鏡、本人の髪の毛などが展示されていた。
実際に生きていた証を目の当たりにして、次自分が演奏する曲の背景をさらに深く考えられるようになった。
初めて現地で観たオペラ。事前学習でストーリーを理解していたからこそ、劇場ならではの迫力を全身で感じる事ができた
オーストリアで過ごした6日間は、私たちの音楽に対する想いを大きく変えた。





体育大会

ついに3年生。コロナの規制が完全に撤廃された。マスクなしのクラスメイトの顔、みんなで囲むお昼ごはん。これが普通のはずなのに、どれも私たちにとっては特別な時間だった。高校生最後の体育大会。絶対にいいものにしたし、やるなら俺しかないと思って群団長になる事を決めた。自分自身人前に立つことが好きで、部活でも副キャプテンをやっていたので正直余裕だと思っていた。でも実際、動き始めてみるとクラス内に温度差があって、自分一人の力では何もできない事に気付いた。最初の全体練習、一番率先して動くべき三年生が一番動いてなくて群団にイライラして怒ってしまった。何でこんなキレてんの？あいつ怒るとるけど指示分かりにくいんよなでも、あいつ前出て頑張ってるから俺も頑張ろうよ群団練習が上手いかなかったから、群団スローガンを掲げたり旗を作ったりした。そこから三年生を中心に群団がまとまって来て群団長になれた気がしたついに明日。みんなで円陣くも！絶対優勝するぞー！おー!!!開会式、会場は校長先生の掛け声で大盛り上がり。応援合戦の直前、群団を前にして話したことは今でも心に残っているみんな笑顔でねお疲れ様！今までが一番うまくできたんじゃない?!全ての競技が終わって、ついに結果発表。優勝は…優勝は別の群団。たくさん練習したのに優勝できなくて悔しかったでもあのクラスの優勝は納得かも、クオリティ高すぎたもん！最初は不満ばかりだったけど、やっていくうちに愛着が湧いたことでこの群団で良かったと思えた

文化祭

じゃあクジ引くよせーの！うち演劇だーどうだった？うちパフォーマンス私、ジブリとかディズニーやりたいなーでもせっかくならオリジナルに挑戦してみたい！このクラスでアカデミー取ってやる！そんな気持ちで挑んだしかし、夏休みという大事な準備期間なのに、なかなかみんなは集まってくれなかった。毎回集まる人が同じでシーンによって完成度が違ったり、見る人にちゃんと伝わるか不安だったできる事の幅が広すぎて何から手を付けたらいいか分からず

構成を考えるだけで精一杯だったリハーサルの段取りをしっかりと決めてなくて試したいところができなかった。この状態で本番なんて、クラスから焦りの声が増えていったけど少しずつ準備を進めていくうちに、協力する人がどんどん増えてきて、完成が見えた。ついに本番！舞台上で全部通すのは初めてで、幕が上がる前から緊張しっぱなし。絶対にこの役をやりきると決心して演じた上手くできたか不安だったけど、みんなから褒めて貰えてうれしかった！本番中、いろいろなアクシデントがあったけれど、無事に公演を成功させることができた意見が合わず沢山ぶつかることもあったけど、最高の文化祭だった！商業科と言えば検定。簿記検定に文書処理検定、商業経済検定。検定シーズンは毎年カツカツ…情報処理検定は文化祭と丸被り。検定勉強全然出来てないよね一緒に勉強しよう。私エクセル教えるから筆記教えてよ。商業科目は高校に入って初めて触れた。他の皆もそうだったからお互いに教え合うことが多かった。ビジネスマナー緊張したよね。普段は優しい平野先生たちがちょっと怖かったな。商業科しか受けれない講座がたくさんあったパーソナルカラー診断とか！今まではコロナ渦で出来なかったけど今年はできたんだよね！他にも外部講師の方々からも様々な経験談を聞いたことで、社会人になってから活かせることを沢山学べた。中学のころ、私以外に音楽の道に進む子はいなかったここではクラスみんなが音楽に真剣に向き合っている一緒に学ぶ仲間だけど、ライバルでもあるクラス内だけじゃない実技試験で先輩の演奏を聞いた時、私もこんな演奏をしたいと思った3年間で学んできた理論や技術は僕の武器になった演奏会や学校行事。全部並行して練習するのキツすぎ私たちの最後の舞台、卒業演奏会。実技試験を通して選ばれた人しか出演できないこれまで以上に必死に練習した。これが私たちの集大成音楽科での生活は「自分との戦い」の連続。みんなと同じ夢を、自分の手でつかみ取りたい。そう思えるようになった。

部活

1年生は全員が部活に入らなきゃいけない。私は幽霊部員でいいと思っていた。しかし、一緒にこの部活やろうその一言は私の3年間で大きく変えた。最初は馴染めるか不安で行くののためらっていた。けど先輩が

優しく教えてくれたから、部活に行くのが楽しかった。初めて試合に出て得点したとき、ベンチにいた先輩たちが総立ちで喜んでくれた。その瞬間、自分も部活の一員になれた気がした。部員全員で一つのものを作り上げる。その活動の中で、学年ごとに熱意の差があって揉めたり、話し合いすらしなくなった時もあった。しかし本番直前、顧問からの言葉で私たちに火が付き、みんなが同じ方向を向いたとき3年間で1番輝けたと思った。本番後、ロビーでお客さんが「同朋良かったね」と話しているのが聞こえた時、本当にうれしかった。気づけばもう引退…終わりが近づくとつれ、懐かしさと後悔が止まらない試合で初めて勝てた日寝坊して怒られた日顧問とぶつかりあった日先輩の引退そして後輩との出会い部活に入ったことでこの3年間でより濃いものになった

後輩へ

在校生の皆さん、残りの高校生活を後悔のないように過ごしてください。部活の後輩へ、部活は競技することがすべてじゃない。みんなで仲良く、お互いに高めあえるようになってほしいな。心が折れそうな時でも諦めないで、後悔のないようにね。学校行事で裏方として支えてくれてるみんな。直接感謝を伝えられることは少ないかもしれない。でも目に見えないところで頑張っている姿、見てる人にはちゃんと伝わってるよ。在校生の皆さんへ。3年間という高校生活はあっという間に過ぎてしまいますその中で、何かに真剣に打ち込んだら頑張った証として自分の中に残るから、何事にも全力で取り組んで。何より、この高校生活を精一杯楽しんでね。

在校生構成詞

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私たちと一緒に彩りある思い出を振り返りませんか？体育大会直前、病気が流行りダンス練習ができるか不安だったけど、先輩方は優しくおもしろくて、そしてさりげなくフォローまでしてくれて、全員で成功させようと頑張っている姿は格好良く見えました。自分たちの前では弱音を言わず、裏で人一倍努力していた先輩方の本番後の「涙」は自分たちに感動を与えてくれました。どんなときも背中を押してくれる心の広い先輩の言葉はいつも前向きになれます。先輩方にいっぱいもらったアドバイスを胸に来年・再来年頑張っ

ていこうと思います。先輩方のおかげで楽しい体育大会でした。ずっと憧れだった先輩に花火に誘ってもらい、その後一緒に写真を撮ることが出来て嬉しかったです。体育館舞台でも、野外ステージでも一人一人個性があり、企画力・計画力がすごく、裏でたくさん頑張っている姿を見て、改めて尊敬しました。先輩方の劇やパフォーマンスが私たちの心を動かし、学校生活により力を入れたいと思いました。先輩はいつも、お手本となる多くの姿を見せてくれて、楽しい話もたくさんしました。演奏会では格好良い姿を見られただけでなく、中心で動いてくださったおかげでたくさんの練習が出来ました。ありがとうございました。私も先輩のようにになりたいと思います。バスの止まるボタンを押し忘れて部活に遅れるおっちょこちょいな先輩。根は真面目だけどツンデレな先輩落ち込んでるときは一緒にいて励ましてくれた先輩。表ではヘラヘラしているけど、裏では見えないところで居残りをして努力している先輩怖そうなおーラがあったけれど、部室での恋バナにすごくノリが良い先輩。試合での最後まで戦う姿がとて格好良かった先輩そんな先輩でも、朝お母さんに起こしてもらっていることを知っています先輩にご飯に誘ってもらったとき、とても嬉しかったけど緊張でラーメン一杯が限界でした。ラーメンばかり食べているので、体調には気を付けて下さい最初の部活動で「緊張しちゃうよね。けど、大丈夫だよ。」と笑顔で励ましてくれた先輩。部活以外でも気さくに声をかけてくれたり、笑顔で距離を縮めてくれた先輩本番前に緊張をほぐしてくれた上に、本番では一番本気だった先輩。試合に負けて悔しそうな先輩。一回聞いたことを忘れてしまっわからなくなったことでも、聞いたら何度も教えてくれたりミスしたら励ましてくれたり上手くできたときはたくさん褒めてくれたので今では間違えなくなりました。寄り添って話を聞いてくださった先輩、時に厳しく教えてくださった先輩、相談したら真剣に自分の悩みに向き合いアドバイスしてくださる先輩方のお陰ですマスクを外せるようになった今、先輩の笑顔を見て、そして先輩を笑顔で送り出すことができます。短い間、限られた機会の中で、先輩からたくさんのことを学びました。これからは、自分の行きたい道を、夢に向かって進んでください。それぞれの進路先でも、先輩方が輝けますように応援しています！

在校生合唱「旅立ちの日に」

友達

高校でできた大切な存在



僕の最初にできた友達は部活が一緒に、同じ商業科の君だった。クラスに友達がなくて、昼休みの時間になるとすぐ弁当を食べて、君のクラスに走っていった。どんなときも、いつも隣にいてくれた朝、一緒に寄り道して遅刻したり、部活でトイレ行くふりしてサボったりしょーもないことを一緒にやって怒られてどれもいつかは笑い話になるのかなお互いの勘違いで言い合いになって距離を取るようになったでも、離れてみると、学校がいつもよりつまらなく感じるどれだけすれ違っても、私にとってはいなきゃいけな存在なんだと気づいた今日までいろんな経験をしてきた。けどそれより…テスト全然できなかつたんだけどー体操服貸してー今日の帰りあそこ行こうよ！あ、ビーリアルきた！やばい宿題やってない！見せて！なんでもない日々の会話ができたことが何よりも幸せ今日まで笑顔で高校生活を楽しめたのは、君がいたから私と出会ってくれて、ありがとう

先生

最近遅刻と欠席おおいぞ！ちゃんとプレザー着ろよ！リボンつけろ！スカート！！毎日のように言われて、鬱陶しかった言われる度に反発して、迷惑ばかりかけてきたただでさえ個性の強い私たちに一人一人向き合ってくれた自分の進路のことなのに実感が湧かなくて、出願書類を出していなかった。先生にとっては心配で気が気じゃなかったと思う。それでも最後までサポートしてくれた行事のとき、意見が対立してクラス内の雰囲気が悪くなっていた。そんなとき、前に立って場を持ち直してくれたどんな時も先生に助けられてきた3年間、本当にありがとうございました。春からはいないのはやっぱり寂しい。だからまた会いに来ます。立派な姿で胸を張って

家族

行ってきまーすちょっと待って弁当忘れてるよ毎朝自分よりも早い時間に起きて弁当を作ってくれた雨降ってるし学校まで送るよ。学校終わったら連絡して、迎えに行くからそれだけじゃない。遅刻しそうな時、体調が悪かった時、部活の試合の時。何回も送り迎えしてくれた進路決める時、もめちゃったよね私は県外の大学に進学するつもりだった。でも(読み手が呼びたい親)は「そこに行く必要あるの?」と否定的だった。私のことを思ってくれていると分かっていたのに「うるさい、私の決める事じゃん!」とひどいこと言っちゃった。ごめんね、(読み手が呼びたい親)が優しいからつい甘えて、その優しさが当たり前だと思っていた。ありがとう。いつもそばにいてくれて、いつも私の味方で、どんな時も笑顔で時々厳しくて、そんな(読み手が呼びたい親)でよかったよ。これからも心配と迷惑をたくさんかけると思うねえ、今の私、どうかな?クラ連に入って、人をまとめる立場になった気づけば、人前で指示が出せるようになっていた信頼できる友達に出会えただから、自分の気持ちを伝えられるようになった今の自分にとって、優先すべきことに気づいただから自分から行動できるようになったこの学校に来たことでできることが増えた同朋高校で過ごせてよかったすごく楽しかった。だからまだここにいたいそれでも進んでいく。未来へ続くこの道を…



合唱「道」

【思い出が 時間を止めた】
今日の目を忘れるなど
見慣れた景色 二度と並べない
思い出の道
この道で君と出合い
春が僕らを包んでた
愛と優しさ 教えてくれたね
泣かないで歩こう
空、今日も青空です
泣き笑いたあの時
あたりまえが未来に変わる
「希望」「夢」「愛」話したい
動くな時間
空に叫ぶ

キミを忘れない
優しさに出会えたことで
僕は独りじゃなかった
誰も消せない心のアルバム
笑えるかもね
【動き出した最後の時間】
君に伝えたい言葉
涙邪魔して空を見上げたら
春の音聞こえた
道、君と歩いた今日まで
かすかに動くくちびる
特別な時間をありがとう
「心」「勇気」「友」「笑顔」
嬉しすぎて

溢れ出した
涙がとまらない
ゆっくりと歩きだそう
この道未来へと続く
さよなら泣かないで
忘れないよ
離れても愛しています
道、君と歩いた今日まで
かすかに動くくちびる
特別な時間をありがとう
「心」「勇気」「友」「笑顔」
嬉しすぎて
溢れ出した
涙がとまらない



学校長式辞

中庭の河津桜もずいぶん開いてきました。今朝もメジロが、蜜を吸いに来ていました。新たな生命の息吹が感じられるこの佳き日に、豊正中学校長奥野様をはじめ、宗門関係・学園関係の皆様、本校PTA役員の皆様と、多くのご来賓のご臨席を賜り、同朋高等学校2023年度卒業式を挙げてまいりますことは、この上ない喜びです。

卒業生の保護者の皆様、慈しみ育てられたお子様の成長した姿に、感慨もひとしおであろうと存じます。謹んでお慶び申し上げますとともに、3年間にわたり、本校の教育活動推進のために、温かいご支援と多大なるご協力を賜りましたことを、教職員を代表して厚くお礼申し上げます。

ただいま卒業証書を受け取った500名の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんの門出を心から祝福します。本日のこの喜びは、皆さんのたゆまぬ努力の結果ではありますが、ご家族をはじめ、多くの方々の愛情とご支援のおかげでもあります。こんな歌がありました。「生きているということは、誰かに借りをつくること。生きていくということは、その借りを返していくこと」。この人生の節目に当たり、お世話になった家族や友人に素直に感謝の気持ちを伝えてください。

こうして多くの来賓の方々に登壇いただいて、また何より在校生もそろって参加する卒業式は4年ぶりです。歴史を紐解くと、同朋高校の手作り卒業式が始まったのは1979年です。実に40年を超えて続いてきています。同朋高校では、卒業生も在校生も、全員参加する卒業式を続けてきていました。それは同朋高校が卒業式を、卒業生にとっても在校生にとっても、大切な学びの場であると考えてきたからです。

卒業生が、自らがすごした3年間がどのようなものだったかを振り返り、みんなでその成長を確認する。先輩から受け継いだこと、後輩へ引き継ぐことなど、メッセージに溢れ、参加する在校生もそれぞれの生き方を考えることができる…。この数年、コロナで形を変えざるを得なかった卒業式を、以前の形で行えること、本当に嬉しく思います。

始業式や終業式などの式典では、ずっと、皆さんと大きな声で校歌と一緒に歌いたいのと思ってきました。それが今日、最初で最後、この卒業式でようやく叶います。私も皆さんと精いっぱい大きな声で歌います。

皆さんの中学3年が始まる時に、コロナが世界を覆いました。大きく世の中が変わってしまい、高校に入学しても、1年生の時は文化祭も体育大会も中止となりました。多くの制限がある中、それでも力いっぱい挑戦する姿には、たくさんの勇気をもらいました。今年度に入りさまざまなことが復活してきました。これまでの日々を取り戻そうとする皆さんの爆発的なエネルギーは、目を見張るものがありました。皆さんの先輩が、途切れそうな伝統を皆さんに何とか託し、そして皆さんがそれを見事に受け継いだ上、発展させてくれました。

この混んとした時代の転換点に、高校生という特別な時間を過ごした皆さんは、新しい時代を作る一翼を担う世代であることは



間違いありません。

世界に目を向けると、皆さんが高校生活を送る間に戦争が始まりました。2年前の2月24日、ロシアがウクライナに侵攻しました。昨年10月7日にガザのハマスがイスラエルを攻撃しました。それに対する過剰防衛・過剰攻撃は、もう報復ではなく虐殺と呼ぶべきものになってしまっています。

「私は正しい」すべての争いの根はここにあります。いろいろな争いの根っこには正しさを握りしめている人間の愚かさがあります。「人間は、自分は絶対に正しいと思い込んだ時に、最も残酷なことをする」これは司馬遼太郎の言葉です。

皆さんは親鸞聖人の教えを建学の精神とする同朋高校で3年間過ごしてきました。「これが親鸞聖人の教えである」と声高に教わってはいなくても、行事、クラブ活動、日常生活を通し、正解がない問いの答えを探しながら、皆さんの中で育ててきました。「共なるいのちを生きる」他者との関わりの中で多様な個性や異なる価値観、違いを認め合い、それぞれが輝く。同朋和敬の精神をこれからも大切にしてください。

これからそれぞれ選んだ道を歩いていく皆さん。道を進めば、またいろいろなことがあるでしょう。思い通りにならないこともきっとあります。悩んだり迷ったりするかもしれませんが、それでも、あなたの人生は、あなたの手の中にあります。皆さんは一人ひとり、自分の道を拓くための力を、もう十分に持っています。卒業証書はその証です。思い切っておつかって行ってください。

最後に、南アフリカでアパルトヘイトと闘い、27年間獄中で自由を叫び続け、全民族融和を勝ち取ったネルソン・マンデラの言葉を皆さんに紹介します。

The greatest glory in living lies not in never falling, but in rising every time we fall.

「生きるうえで最も偉大な栄光は、決して転ばないことにあるのではない。転ぶたびに起き上がり続けることにある。」卒業生の皆さん一人ひとりの人生が、驚きとワクワクに満ちたものでありますように。

以上で式辞といたします。

同朋高等学校長 滝 敏行

来賓祝辞

校内に植樹されている河津桜の花が皆様を迎える本日、3年前に入学した皆さんが卒業の日を迎えることができました。

卒業生の皆さん。本日はご卒業、誠におめでとうございます。また、保護者の皆様、卒業、そして成人を迎えるまで、朝起こし、弁当を作り、送り迎えをし、心配と不安と幸せながらの目まぐるしい18年間、本当に今日までお疲れさまでございました。

また、校長先生はじめ、教職員の皆様、子どもたち一人ひとりに寄り添い、温かく、時には厳しく、根気よく、親身に導いてくださいましたことを心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

同朋高校での3年を振り返り、今、何を思いますか？

楽しい日々だけではなく、泣ける日、悩む日、苦しむ日、さまざまな日々があったと思います。

「制限」からの「解放」、シェイクスピアの名言「明けぬ夜はない」を皆さんはまさしく経験しました。

コロナ禍という大きな変化の中でも寄り添ってくださる先生と共に、皆さんが歩んだ足跡があってこそ、心と体の成長、思考の変化があり、今日という日を迎えることにつながったのではないのでしょうか。

さて、卒業生だけではなく在校生の皆さんも少し耳を貸してください。高校卒業すると、世間、あるいは社会に出ます。放り込まれます。大人としての立ち振る舞いを求められます。良き出会いも多々あるでしょう。しかしながら、昨今ニュースであるように、あなたを騙す、傷つける、奪う、このような人に出会うこともあります。良き出会いもあれば、そうではない場合もある。このことを心のどこか片隅で思っておけば、こころが壊

れないかもしれない。ご自身のこころを守るために覚えておいてください。

また、就職する方は四月から、進学する方も、いずれは「仕事」をします。どのような仕事でも、そこには「人」が関わります。サボる、怠ける、勉強しない人には、仕事を任すことはできませんし、任せようと思いません。信頼、信用することができないからです。人から信頼、信用されるように努力してください。

皆さんは、この先、自分の力ではどうしようもない理不尽なこと「ヤバイ!! どうしよう!! もうだめだ!!!」ということに、必ず遭遇するでしょう。その時は、「生きる」という選択をしてください。弱くても、失敗しても、格好悪くても、良いのです。「生きる」という選択をしてください。

皆さんは決して独りではありません。同級生、先輩後輩、先生方、保護者、いろいろな縁があり繋がっています。新しく出会う人とも縁が繋がっていきましょう。皆さんは一人ではなく、多くの仲間がいます。困ったときは、一人で考えず、仲間を頼りましょう。

少し世間社会の嫌なところもお話ししましたが、それでも、生きていく中で面白いところも多々あります。これから先の人生、楽しんでください。

最後になりますが、保護者の皆様におかれましては、PTA活動に惜しみないご協力を賜りました事を深く感謝申し上げます。本日は、ご卒業、そして大人の仲間入り、おめでとうございます。以上を持ちまして、私からの祝辞といたします。

令和6年2月17日 PTA会長 津多 賢一



保護者感謝の言葉

卒業生の皆様、早いもので同朋高校の門をくぐった日から、もう3年の月日が経ちました。

これまでの成長を温かく見守ってくださった保護者の皆様、心からお祝い申し上げます。

ご来賓の皆様におかれましては、ご多用の中ご臨席賜り、誠にありがとうございます。また本日こうして卒業式を迎えられるのも、校長先生をはじめ、教職員の皆様のご指導のおかげです。本当にありがとうございました。

さて、卒業生の皆様、本日はご卒業おめでとうございます。年齢的には成人となる歳になり、もうすっかり大人になってしまいましたね。

皆さんが産まれた日、私たち親はどんなに嬉しく、どんなに幸せな気持ちに包まれたと思いますか？この小さな手を、愛おしい命を、何があっても守り抜くと、あなたたちの健康と幸せを、強く願った日でもありました。一日いちにちが愛おしくて、共に過ごす中で、親としても一緒に成長してきた18年間でした。

今日でこの同朋高校の制服を脱ぎ、大人の道を進んでいこうとする子どもたちを見ると、小さな手を握り締めていた頃を思い出してしまいます。

皆さんは覚えていますか？幼稚園や保育園で、はじめてできたお友達と楽しく笑ったことを。大きかったランドセルがどんどん小さく思えてきたことを。勉強にも、部活やスポーツにも、必死になったことを。同朋高校の門を始めてくぐった、あの日のことを。皆さんは覚えていますか？

きっと私たちの知らないところで、友達とうまくいかず悩んだこともあったかもしれません。進路に悩んだこともあったでしょう。

自分の足で歩き、今日までいろいろなことを乗り越えてきたあなたたちの、どんどん自分の世界を切り開いて進んでいく姿がたくましくもあり、いつも横にいて、いつも手を握っていたあの頃を思うと、離れていく姿がさみしくもありました。

あなた達の成長の一瞬、一瞬が、私たちには本当に大切に、自分のこと以上に感情的になってしまい、つい口うるさく言うこともありました。忘れ物をしていないだろうか、そんな小さなことが心配になり、

友達と笑いあっている、そんなささいなことが嬉しくて、あなたが何かにつまずいて、もがいている時には、ただ後ろから『どうか頑張って』と背中を見守ることしかできないもどかしさに、私たち自身ももがいたこともありました。

そうやって、一つひとつを一生懸命に生き、この同朋高校でたくさんの仲間に出逢い、明日からは、今までよりもっと大人になったあなた達でそれぞれの道を歩んでいくこととなりますね。私たちに成長を見守る喜びをくれてありがとう。

これから先、迷ったとき、不安なとき、くじけそうな時があっても、私たちは必ず味方であるということを忘れないでください。成人しようが、どれだけ大人になろうが、あなたたちが大切に大切に仕方がないということ、どうか覚えていてください。あなたたちの幸せが、私たち親の最高の幸せです。幸せをたくさんつかまえて、素敵な大人になっていってくださいね。今日のこの、立派に成長したあなたたちの姿が、私たちの「誇り」です。

こんなに素敵な姿を見せてくれて、本当にありがとう。そして心の育つ仕上げの時期を大切に寄り添ってくださった先生方に、もう一度心からの感謝と尊敬を申し上げます。ありがとうございます。

卒業生の皆さん、実は私たちからも『ありがとう』という感謝を伝えたくて、サプライズを用意しています。

それでは、保護者の皆様、ご起立ください。

ご着席ください。

指揮をくださった鐘木先生、ピアノ伴奏をくださった前田さん、ありがとうございました。

卒業生の皆さん、今日まで元気でいてくれて、ありがとう。こんなに立派に育ってくれて、ありがとう。生まれてきてくれて、ありがとう。大好きだよ。

令和6年2月17日 PTA副会長 新井 さくら



卒業式感想

2年間、卒業式に関わって

私は、2年間卒業式実行委員として卒業式に関わっています。去年は委員長を支える1年チーフをやっていました。卒業式実行委員になろうと思った理由は、群団でお世話になった先輩への感謝を伝えたい、そして私の兄がこの同朋高校で卒業を迎えたからです。

そんな時「合唱構成詩」を知りました。どうしたら感動を与えられるのか、感動だけでなく笑いも取りたいな、そんな私たちの想いを込め、構成詩を完成させていきました。なかなか練習ができず不安な気持ちは日に日に増していきました。そして迎えた本番、緊張で震えが止まりませんでした。

無事終わった後、3年生の合唱が始まりました。歌い出して自然と涙がこぼれ、歌ってこんなに感動するものだったかと思いました。3年生の思いが体全体に伝わり、「私もこんな合唱をしたい」「卒業するときは全員を泣かせたい」「3年間卒業式実行委員をやりたい」と思い、今年も卒実に入りました。

今年はチーフではなく、実行委員長をさせていただきました。自

分なんかで大丈夫なのか、引っ張っていきけるのか不安で仕方が無い中、急遽リハーサルで話をすることが決まりました。直前まで考え修正をしたものの、話す時間が近づくと緊張し、台詞が頭から抜けていきました。

人生で初めて全校生徒の前に立ちました。人前で話すのがどれだけ大変なのか身にしみました。とてもいい経験をしたと思います。終わった後、3年生の先生や先輩から「幸あれ」めっちゃ良かったよ」「緊張めっちゃ伝わったよ」「ありがとう」などと声をかけていただき、やって良かったなと思いました。

去年とは違った視線や役割で卒業式を支えることができ本当に良かったです。この2年間3年生の背中をたくさん見て、何を重視して雰囲気を作り上げていくのか、どれだけの時間をかけているのか、この目で見てきました。来年は自分の番です。今までで一番いい卒業式を作り上げていきたいです。

202 倉地 杏梨 (名古屋市長立長良中学校出身)



各種表彰者

- 愛知県知事賞 303 富田 結太 (名古屋市立豊正中学校出身)
- 名古屋市長賞 304 相木 由衣 (大府市立大府中学校出身)
- 日私中高連会長賞 314 黒瀬 一葉 (名古屋市立荻瀬中学校出身)
- 愛知県私学協会会長賞 312 岡田 彩花 (西尾市立一色中学校出身)
- 産業教育振興中央会賞 313 井上 奈菜 (北名古屋市立白木中学校出身)

- 愛知県産業教育振興会賞 312 井川 未結 (名古屋市立白山中学校出身)
- 全商協会理事長賞 313 澤田 夏生 (南知多町立師崎中学校出身)
- 愛知県商業教育振興会長賞 312 森田 晴香 (清須市立清洲中学校出身)
- 私学協会優良生徒 302 尾藤 優亞 (大治町立大治中学校出身)

卒業生への

メッセージ



「常笑常勝」210



「桜花爛漫」105



「笑福」女子ソフトボール部



- 101 Plus Ultra
- 102 Be Real ~ありのままの自分~
- 103 ケセラセラ ~なるようになる~
- 104 勇往邁進
- 105 桜花爛漫
- 106 昇れ
- 107 桜は花に顕る
- 108 好きこそ無敵
- 109 爆速風神拳
- 110 日々感謝
- 111 亜莉我翔生(ありがとう)
- 112 星奏響(ほしぞら)
- 201 一期一会
- 202 雲の上はいつも晴れ
- 203 君たちが新しい社会のリーダーズ
- 204 心が体を追い越していく
- 205 リープハイ(Leap High)
- 206 なんとかなる
- 207 羽ばたけ!
- 208 ありがとう
- 209 さよならだけが人生だ
- 210 常笑常勝
- 211 楽しむって勝ちでしょ!
- 212 君は完璧で究極の卒業生
- 213 人生一回、笑顔万回
- 214 愛羅武勇(あいらぶゆう)

- 柔道部 絆
- 硬式野球部 我行精進 忍終不悔
- 陸上競技部 食え(栄養をとりこめ)
- サッカー部 センス!
- 男子ソフトボール部 初志貫徹
- 女子ソフトボール部 笑福(えふ)
- ハンドボール部 勇猛果敢
- 女子テニス部 好きなことに夢中になれ
- 男子バスケットボール部 人は考える輩である
- 女子バスケットボール部 一球入魂
- 男子バレーボール部 頑パレー
- 女子バレーボール部 飛べ
- バドミントン部 顔とラケットはあげろ!
- 卓球部 努力の上に花が咲く
- ラグビー部 辛い日々 一つのトライで幸せ満開
- ダンス部 D-GO-UP Lover
- 女子蹴球部 切磋琢磨
- 釣り同好会 みんなで釣ると楽しいね
- 情報処理部 君が為桜咲く
- 演劇部 主役の君にスポットライトを
- 美術部 ギャルマインド
- 写真部 レンズ越しの冒険を
- 書道部 百折不撓 ひたすら突き進め
- 漫画研究部 未来を描く
- 茶道部 和敬静寂

- 合唱部 いつか空のどこか 時を越え空のどこか いつかまた
- フォークソング部 No music No Life
- 自然哲学研究会 千年でも万年でも 今の一瞬に敵う物はない
- 吹奏楽部 一心響音
- 高フェス ひとつだけのHappiness
- 同窓会 絆 いつでももっている
- 父母懇 心
- 教員 あらゆる壁が扉になる
- 保護者 行こう! 扉の向こうの輝く未来へ



名古屋平成中村座 ボランティアに参加して

お客様に楽しさを提供するために

211 吉田 梨紗 (春日井市立鷹来中学校出身)

私は平成中村座の公演中、長屋メインでボランティアをさせていただきました。

長屋は商品を売る所、飲食店のように決められたことを言って接客すればお客様からクレームは届きません。その代わり、好感を得ることもできない。なので私は、自身が「楽しんで」接客することに尽力しました。平成中村座のお客様は穏やかで寛大な方が多く、またお話をするのが好きな方が多いと感じました。そのような方々と一対一で言葉を交わすことにまず楽しさを覚え、たくさんの方に積極的に声をかけることができました。ほかに、みんながデザインしてくれたグッズの魅力を伝えること、お客様が喜ぶような言葉は何かと考えること、少しでも興味を持ってくださるお客様を見つけることなど多くの楽しさを覚え、結果としてたくさんのお客様に褒めていただき、また笑顔で商品を買って行かれる方が多く、とてもやりがいを感じることができました。

この経験から、他人を楽しませるにはまず自分が一番楽しむこと、そしてどうしたらもっと楽しくなるかを考えることが大切だと改めて認識しました。きっとこの経験は今後一生忘れることは無いだろうな、と思います。

皆様のおかげでした

公演前の講習会にて、歌舞伎小屋の案内人「お茶子」のリーダーである木村計美さんがこう仰っていました。

「平成中村座の期間中は必ず晴れます」
「小屋は生きものなので動き方に正解はありません」
先のことが、ほんとうに実現されてしまったことには驚きばかりですが、いま私は後のことばについて考えています。

公演期間中の12日間だけでなく、それまでの準備期間も含めて。私の想像力を遥かに超えた多くの方たちの協力や尽力がありました。目に見えた力。見えなかった力。「正解」とは遠く離れた不確かさの中で「名古屋平成中村座を成功させる」という目標のもと、さまざまな力が織り重なり本公演が運営されたことを誇りに思います。

また、先に引いた木村さんの「小屋」ということばは「学校」や「教育」ということばにも置き換えることができるのかもしれない、とも。

異なる「生きもの」同士が「和敬の精神」を持ち日々をしなやかに過ごすこと。各位が各位の持ち場で他責の念を避けながら輝き続けること。その一端を垣間見させていただいたことに改めて感謝の念を抱きながら。

このたびは「東海テレビ開局65周年企画 十八世中村勘三郎十三回忌追善 名古屋平成中村座 同朋高校公演」へのお力添え、誠にありがとうございました。心より、皆様のおかげでした。

教員 久野 嵩大



卯鸞(うさらん)

105 西子 結菜 (津島市立藤浪中学校出身)

「名古屋平成中村座公式マスコット募集」との知らせを受けて、グッズ化!?自分の絵がグッズ化されるかも?と思ったら俄然やる気ができました。

しかし、いざデザインを考え始めると歌舞伎のことは何も分からないし、調べれば調べるほど難しく、なかなか納得できる絵が描けませんでした。

試行錯誤の末「卯鸞(うさらん)」が誕生し、光栄なことにマスコットとして選んでもらえました。もちろん選ばれたのはすごく嬉しかったのですが、その反面これは大変なことだと震え上がりました。

どんなグッズにするかボランティアの人達が考えてくださって、実際にでき上がったグッズを見た時はとても嬉しかったです。

遅くまでグッズの袋詰めをしてくれたり、寒いな長屋で売り子さんしてくれた皆さんの協力のもと、お客様に購入していただくありがたさをひしひしと感じました。

卯鸞の作者として貴重な経験ができ、このたびは感謝しかありません。

平成中村座の皆さん、お茶子見習いの皆さん、ありがとうございました。

お茶子見習いとして頑張ったボランティア

18年前の平成中村座は、4日間6公演だったのに比べ、今回は12日間24公演という大規模の興行であり、「お茶子さん」というプロ集団が入ることになっていました。ボランティアは、生徒186名、父母(OB含む)169名、卒業生10名と、前回の4倍ほどの数が集まりました。その動機も聞いてみればさまざま、彼らを一つにまとめるのは容易なことではないでしょう。それを見事にまとめたのがお茶子の木村さんでした。父母は希望者、生徒は全員参加を条件に開いた事前講習会では木村さんの熱い思いが語られ、どれほどみんなに響いたか不安でしたが、公演が始まってしまえばそれは杞憂だったと気付きました。生徒たちがどんどん積極的になり、状況によって気配りができるようになっていきました。父母の方たちは生徒ではできない範囲のことを補ってやってくれました。どちらが欠けても今回のボランティアは成立しなかったと思います。千種楽にみんなで楽しかったねと言い合えたのが最高の終わり方だったと思います。

教員 柴田 美由紀

2024年度 合格体験記

合格 愛知県立芸術大学 美術学部 芸術学専攻

私は美術系大学の進学を目指して、1年からEPに通いデッサンの対策を行っていました。当初は絵を描く道を目指しており、2年の系統選択でも美術系を考えていました。しかし、学部を調べていく中で美術作品の研究に興味を持ち、志望を芸術学専攻に決め、系統も共通テストに必要な世界史を選ぶことにしました。

美術学部の中でも芸術学専攻は特殊で、デッサンの配点が低く、その代わりに高い共通テストの点数と英語、論述の能力が求められます。2年以降はそれらの対策に追われ、教科書や参考書に向かう時間が増えていきました。3年からは塾にも通っていましたが、家でも勉強の時間を作っていました。ですが、計画を立てての勉強が上手いかなかったこともあり、模試の結果はあまり伸びていかず、本番ギリギリまでD、E判定が出ていたのが現実です。

それでも最後まで力を尽くせたことについて、親や

【普通科】北浦 結衣 (弥富市立弥富中学校出身)

先生など周囲の環境に支えられた面は大きかったです。一人で教科書を開いていた時には顧問の先生に声をかけていただき、勉強のアドバイスをもらいました。親、友人、担任、塾の先生からもポジティブな言葉をかけてもらい、応援されていると肌で感じられる環境は本当に自信につながりました。自分一人で自分を励まし続けるのは難しいことだと思います。合格は自分の努力の成果であることはもちろんですが、身の周りの人々の温かさを受けて得られたものでもあったと感じています。

受験を終えてみて、自分が一貫して大切にしていたのはモチベーションを絶やさないと決めたことと振り返ります。やりたいことへの強い気持ち、落ち込んだ時にも常に指針となってくれました。ここまで長い間ひとつの目標に向けて走り続ける経験は初めてでしたが、その中で気持ちを維持することが難しくも重要であることを学べた受験期でした。

合格 愛知県立総合看護専門学校 第一看護科

私は幼い頃から看護師という仕事に憧れを持っていました。しかし、我が家は家庭の事情で「高校を卒業したらすぐに就職しよう。」と、幼い頃から抱き続けていた看護師になりたいという淡い夢に蓋をして、就職に強い同朋高校の商業科に入学しました。

しかし、就職に向けて学校生活を送っていく中で学校や電車の壁に貼られている医療系のチラシが目に入ると辛くなって目をそらしてしまう自分がいました。そんなある日、「自分は一生医療系のチラシを見る度に辛くなる人生を歩むのか。」と疑問に思うようにな

【商業科】大野 ひな子 (春日井市立知多中学校出身)

り、勇気を出して母と先生方に相談しました。相談するまでに「否定的な反応をされたらどうしよう。」と、とても悩みました。しかし、いざ相談すると母も先生方もとても応援してくれました。もし、一度でも否定的なことを言われていたら、弱かった私は夢を諦めてしまっていたと思います。今の私があるのは確実にあらゆる面から支えてくれた先生方や母のおかげです。これから進路を決めていく人々には、自分のやりたいことや夢を諦めずにいろいろな人に相談して夢を叶えてほしいと思います。

合格 国立音楽大学 演奏・創作学科 弦楽打楽器専修(打楽器)

私は、公立高校の受験に失敗し、第2希望だった同朋高校に入学しました。入学した頃は勉強にも専攻実技にも自信がなく、まさか東京の大学を受験するとは思いませんでした。

2年生になってから、さまざまな音楽大学についての情報を集め、オープンキャンパスに参加しました。ここで進路に対する意識が大きく変わったと思います。そして、体験レッスンで手応えを最も感じた国立音楽大学を志望することを決めました。しかし、大学の情報を集めていく中で、「本当に音楽大学を受験できるレベルにあるのか。」と何度も不安になりました。志望する大学を決めてもお、その悩みは消えませんでした。進路相談のたびに担任の先生や専攻実技の先生にお話し、諦めずに練習や勉強を続けることができました。

大学の入試は9月にあったため、3年生になって

【音楽科】日高 結月 (日進市立日進中学校出身)

すぐに受験準備が始まりました。ずっと続けてきた専攻実技の練習や楽典の勉強に加え、志望理由書や面接の対策のために自分と向き合う時間が増えました。最初はただ書けることを増やしていけばいいだけだと思っていましたが、それが想像以上に大変でした。しかし、家族や担任の先生の手を借りて何とか書類を完成させ、面接練習に取り組むことができました。入試本番では実技は思うようにいきませんでした。苦勞して考えた面接はうまく乗り越えることができました。

結果として、第1志望の大学に無事合格することができました。情報を集めたり、練習や勉強を辛抱強く続けられたこと、そして何より家族や先生方の精神的な支えがあったからこそ合格できたのだと思っています。支えてくれた方々への感謝を忘れず、大学ではさまざまな学びを得られるように努力したいと思います。

2023年度 進学・就職合格状況(一部)

四年制大学

同朋大学
名古屋音楽大学
名古屋造形大学
愛知県立芸術大学
愛知大学
愛知学院大学
愛知工業大学
愛知淑徳大学
金城学院大学
至学館大学
修文大学
椋山女学園大学
大同大学
中京大学

中部大学
東海学園大学
名古屋外国語大学
名古屋学院大学
名古屋学芸大学
名古屋芸術大学
名古屋女子大学
南山大学
名城大学
愛知医科大学
岐阜聖徳学園大学
上智大学
立命館大学
大谷大学
関西外国語大学
沖繩国際大学

大阪音楽大学
国立音楽大学
洗足学園音楽大学
など

短期大学

津市立三重短期大学
愛知学院大学短期大学部
名古屋女子大学短期大学部
名古屋柳城短期大学
など

専門学校

愛知県立総合看護専門学校
津島市立看護専門学校
公立瀬戸旭看護専門学校

愛北看護専門学校
えきさい看護専門学校
中部看護専門学校
など

就職

東海旅客鉄道
日本郵便
クラシエホームプロダクツ
フタムラ化学
レゴランドジャパン
医療法人利靖会
愛知県警
など

留学体験記

国籍を超えた出会い

204 田村 将隆 (名古屋市立筑瀬中学校出身)

今年1月から2カ月間、ニュージーランドのノースコートカレッジに短期留学をしました。ホストファミリーは日本のことが大好きで、とても陽気なファミリーでした。毎日一緒においしいごはんを食べ、寛いで映画を観たりしながら、英語での生活を楽しむことができました。時々、日常会話の英単語やアクセントを教えてくれたりして、とても勉強になりました。ニュージーランドは多国籍国家なので、学校ではさまざまな国の人々と出会いました。お互いの国の文化について英語で紹介し合ったり、たくさんの国について知ることもできました。初対面でも気軽に声をかけ合ったり、面白い友達がたくさんできました。休日は友達と一緒にバスに乗り、町に出かけてピリヤードやボウリングをしたり、マリンスポーツを楽しんだりしました。町を歩くだけでもたくさんの人と触れ合える、とてもフレンド

リーな国でした。2カ月間、英語で生活するという貴重な時間を過ごせて、本当にいい経験だったと思います。高校卒業後はまた留学をしたいです。



生徒会リーダーキャンプ

春のリーダーキャンプに参加して

201 栗本 悠羽 (名古屋市立筑瀬中学校出身)

3月17日(日)~18日(月)に岐阜県多治見市にある地球村でリーダーキャンプを行いました。リーダーキャンプでは2年生が1年生にダンスを教えるという体育大会のプレ応援合戦をしました。3グループに分かれてそれぞれ練習を100分した後に先生や卒業生による審査もありました。その後はグループからさらに半分に分けてサイコロトークで今年度の1・2年クラ連、生徒会執行部などの活動交流や振り返りをしました。

参加して思ったのは、ダンスを教えるのはできるだろうけど楽しくとか仲良くなってなると難しく、話したことないから壁があり固くなっちゃうからまず最初に壁を壊すか薄くする必要があることに気づきました。また、皆それぞれ違う1年間の過ごし方をしていて、違う感覚で行事や学校生活をしてきたから

いろいろな視点があり、他学年の人の話を聞いて初めて気付いたこともありました。同じ学校にいても知らなかった人とも話すことができた楽しい2日間でした。プレ応援合戦で良い経験ができ、卒業生の話を聞いて来年の行事に参加する参考になりました。来年は伝える側として参加したいです。



修学旅行

in Austria



私たち音楽科は5泊7日の日程でオーストリアの2つの街を訪れました。初めて海外へ行く生徒が多く不安な気持ちがありました。修学旅行委員を中心に、現地で歌う曲やガイドさんへのプレゼントを決めたり、行く場所を調べたりと、事前学習をするにつれて楽しみへと変わっていききました。

ザルツブルクでは、映画「サウンド・オブ・ミュージック」で使われた場所をいくつか回り、役を決めてそのシーンを再現するなど楽しんでいました。また、ザルツブルク大聖堂前にてクラス全員で歌ったエーデルワイス、響き渡る歌声に耳を傾けてくれる人がたくさん集まり、盛大な拍手をいただきとても感激しました。

2日目には平和学習としてマウトハウゼン強制収容所を見学しました。事前学習で映画を観てきましたが、実際に訪れてみるとあのようなことが本当にあったとは思えないほどにとて静かで寂しく、ここだけ時間が止まっているかのように感じられました。併設の教会で歌を捧げ、一人ひとりが亡くなった方々の安らかな眠りを願い、世界平和を祈りました。命とは、平和とは、を改めて見つめる機会となりました。

ウィーンでは、ベートーヴェンの家など偉大な作曲家たちゆかり

の場所を訪れ、生徒たちは彼らをより身近に感じられるようになり憧れを増したようでした。

生徒が1番楽しみにしていたウィーン少年合唱団の小学校訪問。彼らと一緒に歌ったことや私たちの歌を聞いてもらったことで、同じ音楽を学ぶ者同士、国や立場を超えてひとつになったような気がしました。校長先生の「音楽は楽しむもの」という言葉がとても印象的でした。

毎年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のニューイヤーコンサートが行われる、楽友協会を見学しました。黄金ホールでまさか1曲歌うことに。感動して涙を流す生徒もいました。最終日には本場のオペレッタをドレスアップして観劇しました。

生徒たちは、この修学旅行で教科書では学べない多くのことを得、五感で感じてきてくれました。音楽は人に幸せを与え、励まされ、心癒すことができる、世界共通のものであることを実感しました。今後いっそう音楽科で学べることに誇りを持ち、将来の夢に向かって頑張っていってほしいと思います。

214担任 遠山 千尋

外の世界を見ること

214 守屋 歌織 (名古屋市立志段味中学校出身)

今までテレビの中にあつた最高峰の舞台をこの目で見るというのは、なかなか衝撃的だ。楽友協会に初めて足を踏み入れた途端、生き別れた恋人に会った気持になり、つい涙をこぼしてしまつた。案内の後、黄金の間へ向かうとそこには圧倒的な異世界が広がっていた。素晴らし過ぎて涙は止まらなかった。

特に感動したのは、自分の声が天使の歌声になったのではと思うほどのホールの響き、装飾は趣深い、パルテノン神殿を彷彿とさせる。現代なのに古代に置き去りにされたと思うほど、一つひとつの柱の柄や形は、職人の細やかな手つきを感じさせる。色鮮やかな天井画は黄金と見事にマッチしていて美しかった。とはいえ、けばけばしくなく上品で落ち着いた雰囲気がよかった。

今まで幾多の音楽家がこのホールで演奏してきたかと思うと、重厚感あふれるホールに畏怖の気持ちを抱いてしまう。この歴史と比べると、自分はとても小さい存在だとも感じた。しかし、私はこのホールで、いつか必ずアリアを歌いたいと思う。立ち止まっている暇などない。

今回の修学旅行で学んだことは、自分を取り巻く世界の「外」に行ったとき世界は広く、やれることはまだあるということだ。そして自分はちっぽけだから今ある「中」の課題を積み重ねなければならぬことも学ぶことができた。

私と音楽を繋いだ場所

214 赤見 菜乃葉 (名古屋市立志賀中学校出身)

オーストリアのザルツブルクは私と音楽が出会った場所だと思います。ミュージカルが大好きで、特にオーストリアで撮影されたサウンド・オブ・ミュージックというミュージカル映画が大好きです。幼いころは毎日のようにDVDを見て音楽やザルツブルクの街並みに触れてきました。街の散歩ではガイドの話聞きながら、この作品が撮影された場所へ行きました。「ドレミの歌」が歌われたミラベル庭園やメンヒスベルクの丘、他にもノンベルク修道院などを訪れることができ、今まで画面で見ていた景色が目の前に広がって夢のようでした。

班行動では事前に決めていたカフェに行き、人気のスイーツを食べたり、買い物をしたりして、とても充実した時間を過ごすことができました。

この修学旅行で大きく世界が広がり、昔と今の「好き」が繋がりました。教会前の広場で歌った「エーデルワイス」。立ち止まって聴いてくれた方、拍手をしてくれた方、音楽を通して得たこの感動を忘れません。

ウィーン少年合唱団

214 山川 寧々 (桑名市立長島中学校出身)

ウィーン少年合唱団はオーストリアにある10歳から14歳の少年が在籍している合唱団です。それは「天使の歌声」と呼ばれ、国内外問わず世界中の人々から愛され続けています。今回私たちは彼らが寮生活を送っているアウガルテン宮殿内の学校を訪ねました。自分は幼いころから地元の合唱団に在団しているのですが、実際に合唱の授業を見学させていただいて、先生のアパッショナート(情熱的)な教え方や、彼らの透き通った声、純粋に音楽が好きという強い思いから、言葉には表せないほどの感動と刺激を受けました。あの短い時間で生徒と一緒に歌ったり、お礼に歌を聞いていただいたりと交流することもできて忘れられない思い出となりました。

実際自分の足でヨーロッパを訪れたことによって、音楽が当たり前の世界だと確信しました。本場の音楽を感じさせてくれたウィーン少年合唱団には感謝の気持ちでいっぱいです。



検定結果感想文

3年間を振り返って

313 澤田 夏生 (南知多町立師崎中学校出身)

私は3年間で簿記・情報処理・ビジネス文書・ビジネス計算・商業経済の5つの検定で1級に合格し、5冠として全商協会から表彰いただきました。また、ITパスポート試験にも自主的に取り組み、取得することができました。私は様々なことに興味を持つ性格で、検定合格にも計画を立てて積極的に取り組みました。

特に、情報処理検定と簿記検定の1級を同じ年の1月に挑戦

すると決めた時は、1年次に培った基礎的な学びをもとに、合格に向けて計画的に勉強しました。厳しい道のりではありましたが、事前に余裕を持った学習計画を立てることや、過去に取得した学びを応用することで、合格を勝ち取ることができました。これから検定や5冠に挑むみなさんも、ぜひ余裕をもって計画的に検定勉強に取り組んでみてください。



検定試験合格表彰

全国商業高等学校協会主催検定試験五種目1級合格生徒
313 澤田 夏生 (南知多町立師崎中学校出身)

全国商業高等学校協会主催検定試験四種目1級合格生徒
312 井川 未結 (名古屋市立白山中学校出身)
313 井上 奈菜 (北名古屋市立白木中学校出身)

全国商業高等学校協会主催検定試験三種目1級合格生徒
313 安部 隼平 (津島市立藤浪中学校出身)
312 池田 優太 (名古屋市立とり中学校出身)

313 河合 萌来 (豊橋市立五並中学校出身)
313 黒木 唯花 (岡崎市立矢作中学校出身)
312 小林 叶実 (津島市立暁中学校出身)
313 竹林 琴羽 (名古屋市立高杉中学校出身)
312 竹内 陽菜代 (大治町立大治中学校出身)
312 中西 大徒 (名古屋市立港明中学校出身)
312 服部 杏南 (名古屋市立当知中学校出身)
312 水野 桜子 (名古屋市立御田中学校出身)
313 森 さくら (弥富市立弥富北中学校出身)
312 森田 晴香 (清須市立清洲中学校出身)



音楽家としての使命

214 吉房 駿 (安城市立安城南中学校出身)

僕たちはマウトハウゼン強制収容所にて、平和学習を行いました。そこには当時の建物や資料が残っており、言葉に表しきれない重苦しい雰囲気を感じました。中でも記憶に残ったことは、収容所の劣悪な環境からガイドさんが言った一言「生きていたかなくて結構」という言葉です。現代では想像もつかない一言だと思いました。僕は普段から戦争に関係する作曲家や曲に触れる機会が多くあります。最後までユダヤ人であるということに誇りをもって亡くなった作曲家もいます。ナチスの行った大きな過ちや事実を承知した上でも、実際に現場を見ることで戦争の惨めさや命の尊さを改めて感じました。現代に生きる僕たちは、この事実を忘れることなく継承する義務があると思います。また、音楽を学ぶものとして一流の音楽家となって音楽を通して伝えることができれば、これ以上に幸せなことはないのではないかと思います。